

研究室に足を運び、研究に挑戦すると、一つひとつ小さなことにも感動を味わう貴重な体験になった。

実験をすると予想を裏切る結果が出てきて、それについて議論し考えることが楽しかった！



京都大学 生命科学研究所

SUMMER SCHOOL 2023

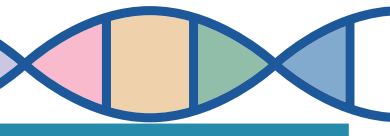
8/28 → 9/15

M O N D A Y

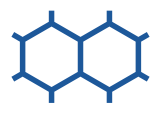
F R I D A Y



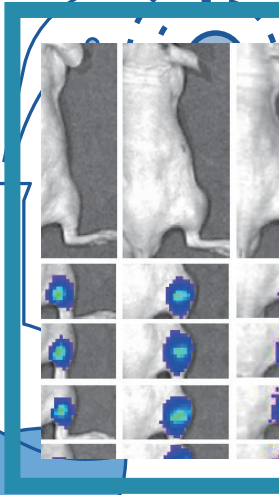
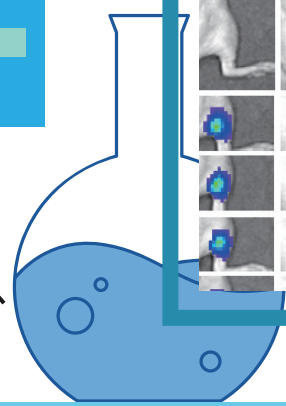
次も参加したいという意欲が生まれ、研究者になろうという意欲が改めて実感できた。



学部から提供される講義よりもっと研究活動の現実に近いところに触れられた！



教員や院生の方々が優しく指導して下さい、充実した日々でした。



夏休みに生命科学研究所で「研究の魅力」を体感してみませんか？

研究経験がなくても心配無用！

あなたの興味ある研究室で一人ひとりに合った

活動内容を配属研究室とフレキシブルに決めることができます！

◆ 配属先は志望動機等を総合的に考慮して決定いたします

新型コロナウイルス感染再拡大等、不測の事態が生じた場合は、開催方法を変更、または開催を中止する場合があります

事前登録制

研究所ホームページ内からの事前申込

応募締切日

2023

7/14 (FRI)



応募方法の詳細はQRコードにアクセスしてください



細胞認識学分野

①活動時間の目安
個別に相談の上
調整します

※
3名
程度



上村 匡 教授

逃避行動が巧妙に調節されるしくみを、一緒に解き明かしましょう!



微生物細胞機構学分野

①活動時間の目安
応相談

※
1-2名



山野 隆志 准教授

「緑の酵母」あるいは「光合成をする酵母」と呼ばれるモデル緑藻クラミドモナスを用いて、ゲノム編集やパイオイメージングなどの分子細胞生物学実験を体験していただきます。微細藻が秘める驚くべき力を地球環境の未来にどのように活かすかを一緒に考えましょう。



分子情報解析学分野

①活動時間の目安
基本 9:00~18:00
ですが、応相談

※
1名



吉村 成弘 准教授

細胞内でのタンパク質の構造や機能を様々な技術を用いて解明します。タンパク質の構造に興味がある方はぜひお越し下さい。



神経発生学分野

①活動時間の目安
応相談

※
1-2名



見學 美根子 教授

最先端顕微鏡を用いて哺乳類の脳皮質発生過程を観察し、制御に関わる分子の探索を行います。また脳発生過程の異常が成長してからの個体行動にどのような影響を及ぼすかを行動実験で解析します。



細胞動態生化学分野

①活動時間の目安
応相談

※
1-2名



鈴木 淳 教授

哺乳類細胞の制御機構に関して自分のプロジェクトを1つ持って研究を行います。実験のデザイン、実際の実験、ディスカッション、研究室でのプレゼン(英語)を通して研究を体験します。一緒に楽しみましょう。



多元生命科学分野

①活動時間の目安
応相談

※
1-3名



谷口 雄一 教授

多数の RNA やタンパク質を単一分子レベルで可視化する蛍光イメージング解析技術、またはゲノムの3次元構造解析技術の基礎を学ぶ。同技術に関連する基本的な生化学操作、細胞培養、データ解析の方法を習得する。



微細構造ウイルス学分野

①活動時間の目安
10~17時
(応相談)

※
2名
まで



野田 岳志 教授

自分の手でインフルエンザウイルスを人工合成してもらいます。合成したウイルスの増殖能の測定や、電子顕微鏡によるウイルスの形態解析など、さまざまな実験を体験してもらいながらウイルス学を学んでもらいたいと思います。クライオ電子顕微鏡や P3 実験室など、本研究室に特徴的な施設の見学も実施します。



分子動態生理学分野

①活動時間の目安
応相談

※
2名
程度まで



渡邊 直樹 教授

細胞内単分子動態可視化や無制限多重超解像イメージング、薬物作用解析を体験できます。



生体システム学分野

①活動時間の目安
応相談

※
1-2名



木村 郁夫 教授

遺伝子改変マウスを用いて、食や栄養あるいは性ステロイドホルモンが関係する肥満などのエネルギー代謝関連現象の研究を行っています。詳細は研究室 HP を見てください。

<http://www.biosystem.lif.kyoto-u.ac.jp/>



システム機能学分野

①活動時間の目安
10:00~17:00の間(応相談)

※
3名
まで



井垣 達吏 教授

ショウジョウバエをモデル生物として用い、がんの発生メカニズムやその制御機構(細胞競合)に関する解析を行います。モザイク解析、免疫組織染色、顕微鏡観察、画像解析などの実験を体験します。実験結果についてディスカッションを行い、解釈・考察を行います。



脳機能発達再生制御学分野

①活動時間の目安
応相談

※
4名
まで



今吉 格 教授

脳神経系の発生や回路研究に必要な実験を体験して頂きます。

1. 神経幹細胞の培養と、ニューロンやグリア細胞への分化誘導実験。
2. マウス成体脳組織の解析。脳サンプリング、切片作製、抗体染色、蛍光顕微鏡撮影など。
3. 恐怖条件付け課題、もしくは、空間記憶学習課題など、マウスの認知機能評価のための行動実験やデータ解析。

